

インストレーション  
インストラクション

# hp StorageWorks 外付 40/80 GB DLT VS テープ ドライブ



© Copyright Hewlett Packard Company, 2002

© Copyright 日本ヒューレット・パカード株式会社, 2003

当社では、本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。

本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他の言語に翻訳することは法律で禁止されています。本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

その他の製品名、社名は一般に各社の商標もしくは登録商標です。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 社製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も新たな保証を追加するものではありません。

外付 40/80 GB DLT VS テープ ドライブ  
インストレーション インストラクション  
第 2 版 Edition (2003 年 1 月)  
製品番号 : 289068-192

289068-192

## このドキュメントについて

このドキュメントでは、HP StorageWorks 外付 40/80GB DLT VS テープドライブのインストール手順について説明します。

## 必要な工具

外付 40/80GB DLT VS テープドライブのインストールには、特別な工具は必要ありません。ドライブのリアパネルにある SCSI ID スイッチを変更するには、小型のドライバまたはボールペンが必要です。

## テープドライブの開梱



**注意：**ドライブを開梱する部屋の温度とテープドライブの輸送時または保管時の温度の差が 15 以上ある場合は、ドライブを 12 時間以上周囲の環境に順応させてから梱包箱を開けてください。

テープドライブを開梱して、輸送による破損がないかどうかを検査します。

1. 梱包箱が損傷していないかどうかを検査します。損傷に気がいたら、運送会社にただちに報告してください。
2. 梱包箱を開いてアクセサリパッケージを取り出し、開きます。パッケージ内の品目はインストール中に必要になります。
3. ドライブを梱包箱に入れたまま、ドライブの底部および周囲に手を回します。ドライブを慎重に持ち上げて梱包箱から取り出し、上部を上に向けて作業場所に置きます。側面を下にしてドライブを立てた状態で置くことは避けてください。
4. ドライブを保護バッグから慎重に取り出します。

**注記：**将来ドライブを移動または運搬しなければならない場合に備えて、梱包材は保管しておいてください。保証が無効にならないように、40/80GB DLT VS テープドライブは、必ず、元の梱包材またはそれと同等の梱包材を使用して運搬してください。

## 設置場所の選択

ホストサーバに近く、平らで頑丈、しかも水平な設置場所を選択します。机やテーブルの上が最適です。どのような場所に外付 40/80GB DLT VS テープドライブを設置する場合でも、必ず、ほこり、高温、高湿度による影響を受けない環境に設置してください。動作時の温度および湿度の許容範囲については、『HP StorageWorks 40/80GB DLT VS テープドライブリファレンスガイド』の「C 仕様」を参照してください。

次の追加ガイドラインに、必ず従ってください。

ドライブの背面側には 15.3cm (6 インチ) 以上の隙間をあげ、適切な通気を確保してください。

プリンタやコピー機に近い場所は避けてください。これらの機械からは紙埃やその他のほこりおよび空中を浮遊する汚染物質が飛散します。

ドライブを床に置かないでください。

発電機、電動モーター、オーディオスピーカー、またはその他の磁界の発生源となるものの近くに置かないでください。磁界は、ドライブやメディアに悪影響を及ぼす可能性があります。

## SCSI ID の設定

40/80GB DLT VS テープドライブのホストになるサーバに接続される各 SCSI デバイスには、固有の SCSI ID を割り当てなければなりません。選択されたサーバ上の選択された SCSI バスに接続されている他のすべてのデバイス（SCSI ホストアダプタ自体も含む）の SCSI ID を確認し、未使用の SCSI ID をテープドライブ用に選択してください。テープドライブの工場出荷時にデフォルト設定されている SCSI ID の 6 を同じ SCSI バス上の別のデバイスが使用していない場合は、この SCSI ID を変更する必要はありません。

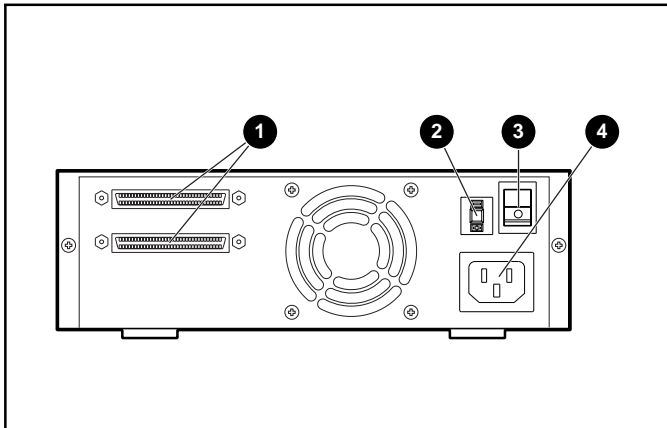


図 1: テープドライブの背面図

- ❶ 68 ピン SCSI コネクタ
- ❷ SCSI ID スイッチ
- ❸ 電源スイッチ
- ❹ 電源ケーブル コネクタ

**注記:** テープドライブを Narrow SCSI バスに接続する場合、有効な ID は 0 ~ 7 のみです。

SCSI ID を設定するには、小型のドライバまたはボールペンを使用して、SCSI ID 表示の上または下にあるボタンを押します。



**注意:** 微量の鉛でもドライブを汚染するおそれがあるので、鉛筆は使用しないでください。

1 つ下の SCSI ID 番号を選択するには、SCSI ID 表示の上にあるボタン ❶ を押します。

1 つ上の SCSI ID 番号を選択するには、SCSI ID 表示の下にあるボタン ❷ を押します。

どちらかのボタンを押すたびに、SCSI ID は 1 つずつ増減します。設定したい SCSI ID がスイッチの表示に現れるまで、該当するボタンを押してください。

**注記:** SCSI ID は 15 まで設定できますが、7 以上の SCSI ID はおすすりません。

**注記:** SCSI ID 7 は、コントローラ用に予約されています。

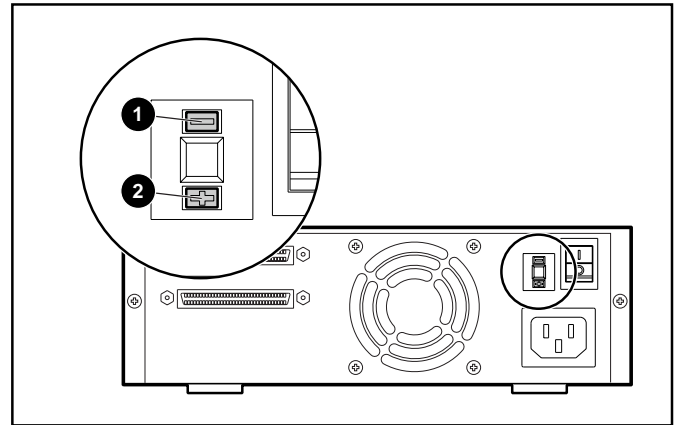


図 2: SCSI ID スイッチ

**注記:** ドライブの電源スイッチが入っているときに SCSI ID を変更した場合には、ドライブの電源を切ってから再投入して、新しい SCSI ID を有効にする必要があります。

## 1 台のドライブの接続

選択したサーバに LVD/SE SCSI ホストアダプタがインストールされていない場合は、すぐにインストールしてください。

SCSI ケーブルおよび電源ケーブルを接続するには、以下の手順に従ってください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンして、選択したサーバの電源を切ります。プリンタや他の SCSI デバイスなど、接続されているすべての周辺装置の電源を切ります。ホストサーバおよび接続されているすべての周辺装置から電源ケーブルを取り外します。



**注意:** これらの指示に従わないと、40/80GB DLT VS テープドライブまたは他のデバイスが故障することがあります。

2. アクセサリパッケージから SCSI ケーブルを取り出し、サーバ背面の外部 SCSI ポートの位置を確認します。

**注記:** 40/80GB DLT VS テープドライブに同梱の SCSI ケーブルは、ほとんどのサーバに対応する 68 ピン VHDCI HBA に接続できます。ご使用の HBA に 68 ピン VHDCI コネクタがない場合、別のケーブルを購入しなければなりません。ケーブルオプションの製品番号については、HP の Web サイト <http://www.hp.com> (英語) の Quick Specs を参照してください。

**注記:** ご使用のサーバは、次の図と異なる場合があります。ご使用のサーバに同梱のマニュアルを参照してください。

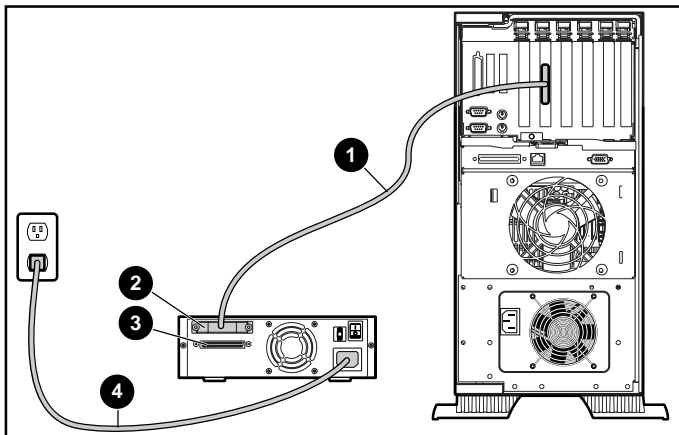


図 3: 1 台の外付ドライブの接続

3. SCSI 信号ケーブル ❶ を、40/80GB DLT VS テープドライブのリアパネルにある SCSI コネクタ ❷ の位置に接続し、サーバの外部 SCSI-2 ポートに接続します。
4. つまみネジを締めて、ケーブルをコネクタに固定します。
5. ターミネータ (図には示されていません) を SCSI コネクタ ❸ に取り付けます。



**警告:** 感電や装置の損傷を防ぐために、電源コードのアース機能を無効にしないようにしてください。この装置はアース付きのコンセントに接続するように設計されています。アース付きプラグは安全上重要な機能です。

6. ドライブの電源コード ❹ をドライブに接続した後、アース付きコンセントに接続します。
7. 他の周辺装置の電源コードを接続し、すべての装置の電源を入れます。
8. サーバの電源コードを接続し、サーバの電源を入れます。

## デジチェーン接続

複数のドライブをデジチェーン接続する場合は、図 4 を参照してください。

**注記:** デジチェーン接続する場合、追加のケーブルを購入する必要があります。ケーブルオプションの製品番号については、HP の Web サイト <http://www.hp.com> (英語) の Quick Specs を参照してください。

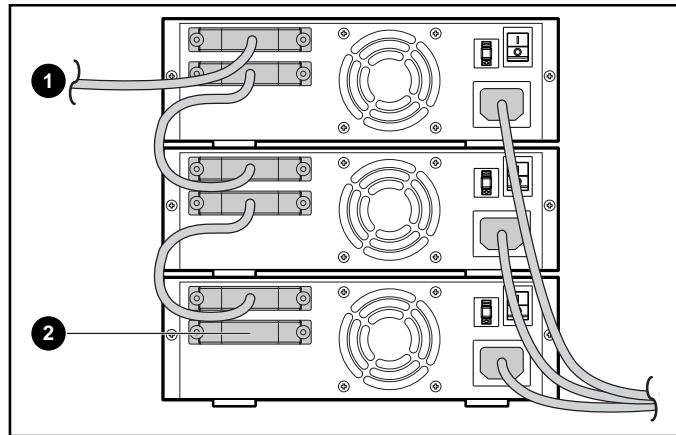


図 4: 複数の外付ドライブのデジチェーン接続

- ❶ SCSI ホスト アダプタへ
- ❷ ターミネータ

**注記:** デジチェーン接続する各テープドライブには、固有の SCSI ID を割り当てる必要があります。「SCSI ID の設定」を参照してください。

## テープドライブの終端

選択したサーバで 40/80GB DLT VS テープドライブが、SCSI ホストアダプタを除いて唯一の SCSI デバイスの場合、ドライブを終端する必要があります。同様に、選択されたサーバの SCSI バス上で、40/80GB DLT VS テープドライブが最後のデバイスの場合も、終端する必要があります。40/80GB DLT VS テープドライブが SCSI ケーブルの最終位置に接続されている場合、ドライブは SCSI バス上の最後のデバイスになります。

40/80GB DLT VS テープドライブを終端するには、アクセサリパッケージでターミネータを見つけて、ドライブのリアパネルにある 2 個の SCSI コネクタのいずれかにしっかりと取り付けます。ネジがピッタリはまるまで締めつけてターミネータを固定します。

## インストールの確認

40/80GB DLT VS テープドライブは、電源を入れるたびに POST (電源投入時セルフテスト) を実行して、ドライブが正しく機能し使用できる状態になっていることを確認します。

POST の進行中、フロントパネルの LED をよく見て、テストの進行状況と結果を確認してください。POST の実行中、次の動作が発生します。

1. すべての LED が一度に点灯して、次に消灯します。
2. レディ (緑色) LED は、POST 後も点灯したままです。
3. ドライブは、読み取り / 書き込みヘッドの位置を較正するときブザー音を鳴らします。

ブザー音が停止した後、POST が完了します。POST の完了には数秒かかり、その後ドライブは使用できるようになります。『HP StorageWorks 40/80GB DLT VS テープドライブリファレンスガイド』の「5 40/80GB DLT VS テープドライブの操作」を参照してください。

インテルシステム対応のデバイスドライバは、HP ウェブサイト <http://wws1pro.compaq.com/support/TSSD2/default.asp> にある、Tape Drives の VS80 から入手できます。